

第17回 全国大学政策フォーラム報告書

愛知大学 加藤ゼミ 「よぺのおきにズ」

私達は登別市の人口の増加を目指し、移住層の定住を増やすために、リモートワーカーをターゲットとした政策を考えた。テレワークはコロナ期間を経て増加し、大衆が新しい働き方に興味を持ち始めており、その数も段々と増加していることと、リモートワーカーの約半分は地方郊外に移住したいというデータがあり、その点で登別は他の道内の地区に比べて都心に近く利便性があることから需要が高いと踏んだからである。

まず1つ目の政策提言は「リモートワーカーへのネットワークサービスの補助」。

快適なネットワーク環境の元で仕事が行えるように市と企業が連携したネットワーク設備の貸出または購入補助を行いたい。市が民間企業と連携し、安い価格で提供することで、負担を軽減させることができる他、引っ越しによる仕事の中断期間を短くすることができる。安く提供した分の負担もそこまで大きくならないため、市としても取り組みやすいと考えた。

しかしこれだけではわざわざ登別に移住する必要はない。登別でしか体験できないような他の市と比べてどのように差別化を図るのか。大切なことは「仕事を離れたプライベートの充実」。

第2の政策は「趣味で築く新たな町づくり、好きに出会える、好きを創る」。

近状、リモートワーカーは在宅勤務であることから、趣味を行いたい、または見つけたいという需要が多くある。登別を趣味の街にして人を呼び込むことが我々の目的である。趣味に着目した政策は他の自治体を見ても少ない。登別には自然や温泉などの魅力が多くあり「趣味の街」にするためのポテンシャルが高いと判断した。しかし登別の魅力について多くの人に知られていないと判断した。そこで趣味を充実させたい人へ向けた魅力発信の手段として地元の人や企業と連携した「趣味フェス」の開催と特設サイトの作成を行った。趣味フェスでは誰でも参加でき、趣味が同じ人同士でバザーを開いて同士を集める他、新しい趣味に出会う機会を提供したいと考えた。ここで特設サイトを告知することでサイトへのアクセス数を増加させる。次に特設サイトでは、登別を知る・体験する・定住するまでの一連の流れをサイト一つでやってのけるようにした。

まず「知る」ではサイトで登別市内でどのような場所でどのような趣味活動が行えるのかを一覧にした「趣味マップ」を作成した。また、この趣味マップでは今後趣味を通じた住民の体験談を掲載することでより明確なライフスタイルを計画してもらい、住むという想像を容易にさせる。次に「体験する」ではサイトを通じて気になる趣味が見つかった場合に気軽にそれを体験していただけるよう無料で趣味スターターキットを貸し出すことを考えた。これらはサイトから簡単に申請することが可能であり、趣味に取り組む第一歩の手助けになると予想した。

また、移住希望者のみでの登別の体験は市の魅力が十分に伝わらない可能性があるため、地元で生活するアドバイザーを紹介する。アドバイザーは町おこし協力隊や専門学生の協力を仰ごうと考えた。次に「定住」では、定住体験を行った人や移住希望者はこのサイトから定住の手続きを行ってもらおう。移住の手続きをスマホひとつで行えることがこのサイトの特徴の一つだと考える。また、趣味体験のプランも継続したい場合もこのサイトから行えるようにした。移住手続きと趣味体験の手続きを一つのサイトにまとめることで、移住へのハードルを劇的に低くした。

移住へのきっかけと手軽さを兼ね備えたこのサイト案を登別市役所の方が今登別にある移住体験ポータルサイトに組み込んでいただけることを前向きに検討していただくとコメントを頂いた。これらの政策は人口増加を大いに期待でき、趣味を通じた生活により、より充実した暮らしの提供を可能にするはずである。趣味というものがいずれ登別の大きな文化となるようなそんな街づくりを目指すための政策案である。

趣味の街、登別

『リモートワーカーの人々を中心に広がる多趣味な街』

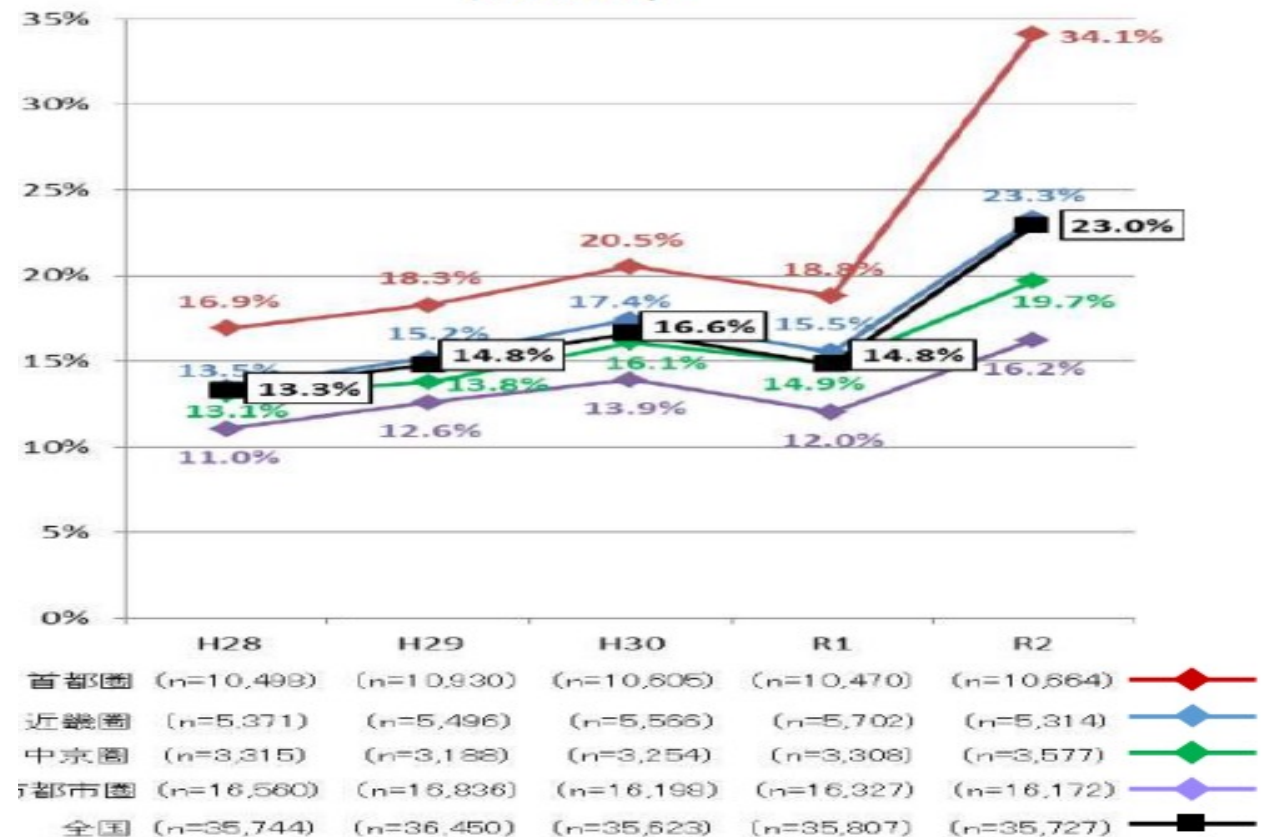
愛知大学 加藤ゼミ 『よぺのおきにズ』

永井日翔 浅野大海 太田幸希 加藤一作 嶋山海翔 相崎伊吹 高橋由衣 高橋葵

なぜリモートワーカーを対象にしたか

- ・ コロナ禍の影響によってリモートワークが増加傾向にある。
- ・ 首都圏に限らず日本全体でも増加している

雇用型テレワーカーの居住地域別割合 (H28-R2)



登別移住の利点

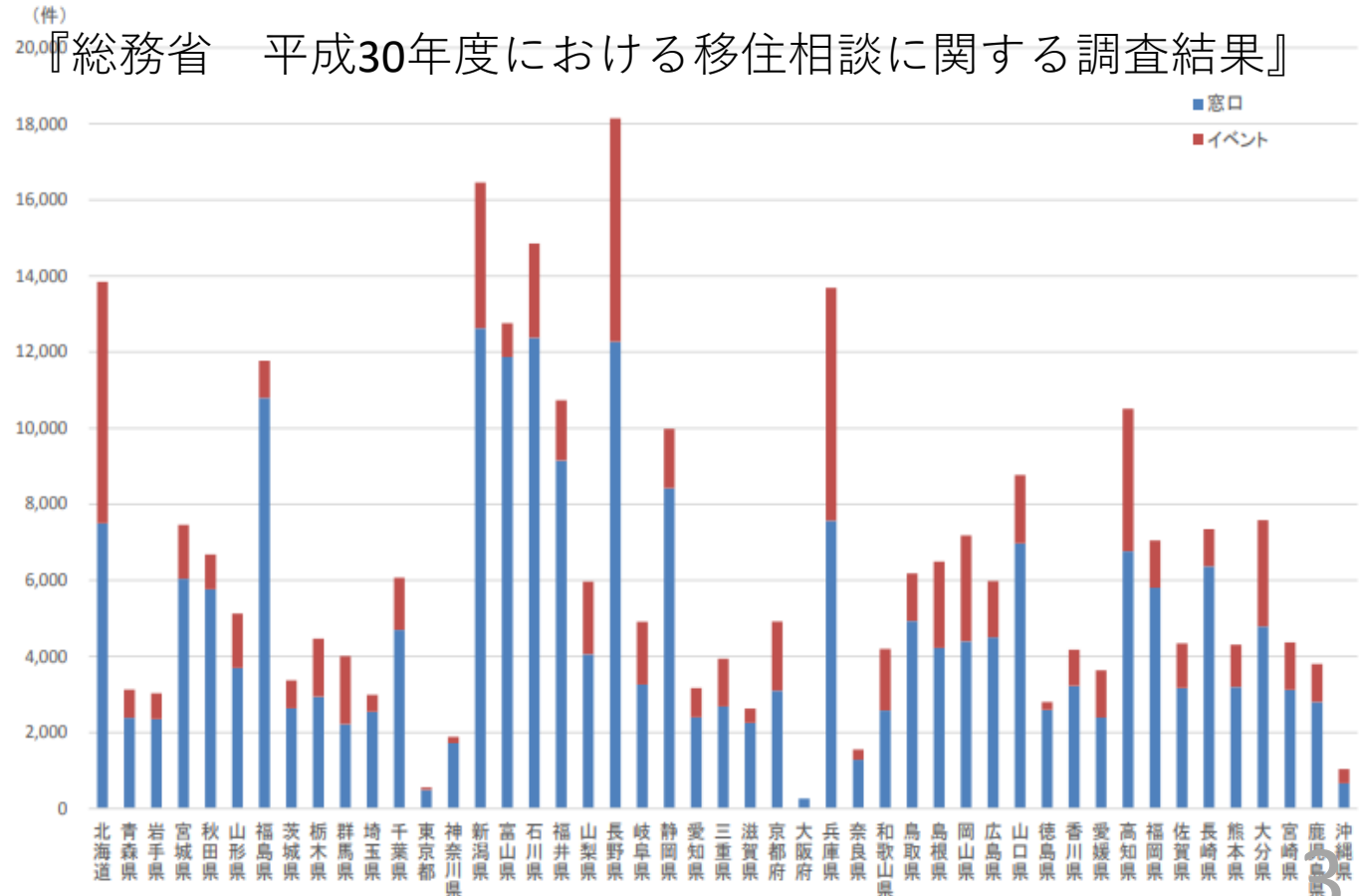
- ・ コロナ禍によって地方郊外への移住の関心が高まる。

- ・ 移住相談窓口の相談件数は北海道が第2位

- ・ 広い北海道の中で登別は郊外であり、利便性がよい。

移住相談窓口等において受け付けた相談件数②

○ 各都道府県・市町村の移住相談窓口等において平成30年度中に受け付けた相談件数は、全体で約298,100件となっている。



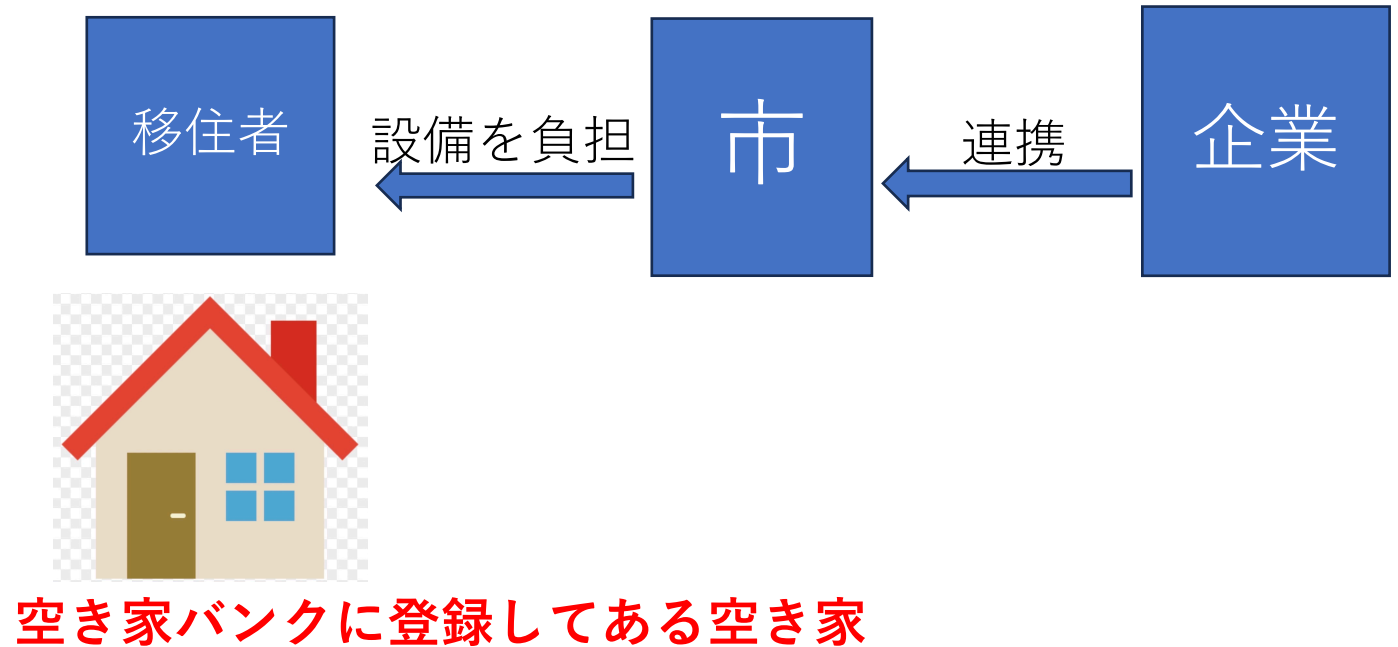
政策提言

① ネットワークサービスの補助

① ネットワークサービスの補償

ネットワーク設備も購入に4万、貸与で3万円する。

→市の負担額も巨額でない。



ネット環境保障の政策効果

- ・リモートワーカーの負担が軽減される。
- ・仕事や中断期間を短縮できる。
- ・空き家問題解決の手助け。

不十分

趣味で築く新たな街づくり

支笏洞爺国立公園 すすきに出会える。すすきを創る。
SHIKOTSU-TOYA NATIONAL PARK

登別地獄谷

NOBORIBETSU JIGOKUDANI

環境省

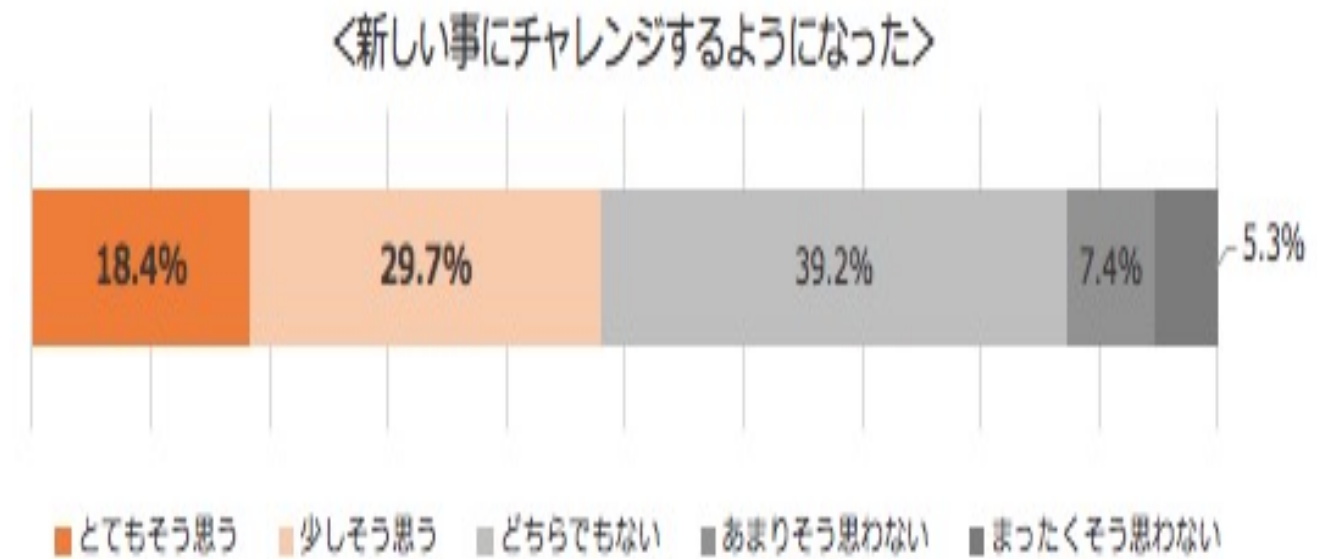
詳細はこちら



リモートワーカーの趣味

在宅勤務であるから、
趣味を充実させたい人、
かつ、新しく趣味を始
めたい人もいる。

→趣味の必要性



『PRITIMES リモートワークによる働き方と生活の変化』より

趣味の可能性

- ・他の自治体では趣味に着目した移住政策は極めて少ない
- ・趣味を持つ人の7割は移住を考えている
登別のポテンシャルが高い 自然・温泉・食べ物

『PRITIMES 趣味人の約七割が将来移住したいという結果に！』

②趣味の街へ

- ・ 趣味フェスの開催
- ・ 趣味の人たちを集める特設サイトを作る



趣味フェス

『登別で趣味を体験したい、見つけたい』を実現する
趣味フェスを開催します。



知る



体験する



移住する

趣味マップ



登山スポット



スキー場



釣りスポット



キャンプ場

趣味に出会う

趣味の一例



DIY

(東京都出身30代女性)
仕事がリモートワークになり、のびのびと子供を育てたいと思い登別市に移住しました。子供たちは登別市でアクティブにのびのびと育っています。私もDIYに目覚め子供達と色々な物を作って登別ライフを楽しんでいます。



キャンプ

(大阪府出身20代男性)
コロナ事情もあり、リモートワークが可能となったため、登別市に移住してきました。私の趣味はキャンプなので、自然に恵まれた登別市はキャンプを行うにはぴったりでした。



釣り

(愛知県出身50代男性)
私の趣味である釣りを存分に楽しむことができる登別市を移住先にしました。大好物であるアジやマスも釣れるため老後の暮らしも楽しみです。

体験

選択していただいた計画プランのもと移住体験できます。



趣味発見 プラン

趣味を見つけたい人向け

¥----

選択する

必要な備品の貸出し、現地アドバイザーとともに趣味の生活を体験していただきます。



趣味移住 プラン

趣味で移住したい人向け

¥----

選択する

趣味で移住体験したい方専用プランであり、市が企業と連帯した備品の貸出し、購入の一部補助いたします。

いざ、登別市へ。

移住体験プランのもと移住を希望された方はこちらから、物件の選択や移住手続きすることができます。

[詳細はこちら](#)



登別暮らし

スタイル

北のオアシス のほりべつ、あなたらしく、のびやかに。



のほりべつを知る



のほりべつのまち



のほりべつを楽しむ



のほりべつで子育て



のほりべつで働く



移住体験



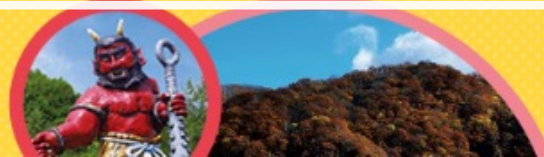
支援制度



ご相談窓口

温泉天国ならではの癒しがあるまちです

のほりべつへ ようこそ！



政策の効果

人口増加が期待できる

住民の生活が充実する

登別が新たな文化となる



ご清聴ありがとうございました。